陛皇天 畏

設行所

引言 2年 会計 位置 水起內之介 和 被 禁 型

赤坂離宮

金上更に親しく東京輝まで 特神がわが國 選挙あらせられた の建幽が日本 を淵由し皇帝 を淵由し皇帝 を淵由し皇帝

日六十 の 総 の の 総 の 人 人 人

東京驛頭瑞祥漲る

御五年振 に御對面

帝陸下にはこゝに肇國悠遠の日本聖代を御多入、晴れの御使命御めでたく鳳凰間

持にて 天皇陛下と親しく御東京驛頭御出迎へを受けさせ

握手遊ばさ

精神を

州分滿州国へ耿吹奏裡に御召列車はごるが 君が代奏樂裡にホームに出御、各皇族方の かせ給ひ、蕭然たる緊張の裡に御待ちあら かせ給ひ、蕭然たる緊張の裡に御待ちあら かせ給ひ、蕭然たる緊張の裡に御待ちあら れた御五年振りの御會見に固 晴れやかに拜し奉つ

を罪じ米內首相謹話

緊密

人 事 往 來

重慶の抗戦力喪失

の回れ鞣酸り酵英決鑑ののはを非明國定のがはを非明國定のがはを非明國定の 解否則不受友し政し右

▲福永香一氏(開負素) その日く 氏(哈爾濱檢察 氏(東方文化研

易場新制度

政府當局準備に萬

阮大使謹話

香港ル

禁絶に大衝動

日滿

萬什

天皇陛下親しく御出迎へ 明事)二十六日來京ヤマ







皇帝陛下

城御參工

國境

皇軍

新銳部隊猛進

至高の御使命果せらる

敵は接病に

田村の各部隊は敵が

・五キロンを陥れ破竹の勢をもつて佛印図境(南寧西南)を占領更につゝ廿四日に除(南寧西南)を占領更の一、神等西南)を占領更

電業社長に

韓雲階氏就任

新舊社長事務引繼

き遊ばさい

六月の薫風のなかに仰ぎる

國家の礎石に

を陶冶養護

官廳

田村

仙定 のるが、是等の若 に大事な將來の擔 に大事な將來の擔

(-1)

ラ ヂ オ で 再 強語 なっテオで再 健康 オ で 再 強語

會社へ希望

(日 曜 木)

清州國皇帝陛下におかせられては元監察院長勳一定 がよあり、御使宮内府掌禮處長張允愷氏は廿五日午 前七時四十分大連着直ちに旅順に向ひ同九時旅順ヤ マトホテルに入つた、廿六日午前十時故羅援玉氏霊 前に於て謀文及び祭祀料御下賜の有難き御沙汰を傳 道記。

か、東個の鉄點とされたので外では他力では 一大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して 大き七分換き三に對して

外 うなことはなく、中々美味 り なのでお役人一同カナリヤ し なのでお役人一同カナリヤ でこれでこそ興亜の腹ごし 月の中分位は栗飯をつづけ るといふ

六月二十八

・二十九・

三十日

於

Ξ

中

井

百

店

五

階

一龍花雪個人民

故羅振玉氏靈前に御使御差遺

國務院食堂興亞のお膳立

高洲糧穀會配絡方※介へ二)君は目下東灣國境方式に於て國防第一線に豊夜を忘れて活躍してある。 この程同社では全社員に配し上半期分の貨奥を支給 し上半期分の貨奥を支給

しし對が緩面

た所が「第一線に活躍して は賃貸款賃費にあてて下さ い」と送附された八十圓を その機本社に返送して來た 身は第一級にありながら

ナス

繞る美談

し皇帝陛下

の思召

して畏くも宮中に御念入天皇、皇后兩壁下と御對顧、御訪日の田午前九時三十分横貫港に御入港御訪日の第一步を印せられ大即ち光輝ある紀元二千六百年御醴戦のため去る二十二日御訪日

情が行はれたのである。感激のこの時刻全市民は家庭に街頭に機場に一齊東方に向つ機が行はれたのである。感激のこの時刻全市民は家庭に街頭に機場に一齊東方に向つ機が行はれたのである。感激のこの時刻全市民は家庭に街頭に機場に一齊東方に向つ 1場に一齊東方に向つて遙拜はるかに日滿交幡の御盛儀を慶祝申上御挟摻を述べさせられる日滿一徳一心の與り愈よ堅き歴史的御盛いで同十一時三十分めでたく晴れの御入京あらせられた 1の途につかせられた皇帝陛下には御船路いと御平安にけぶ二十六

射機關銃

ブルを節約してその淨財を 寄京在住大連羅紗商賞菜組合がサン 新合 新京美協展

特は其後着々準備整ひ二十 一時は其後着々準備整ひ二十 一六日武宮常務取時役、中宮 ・原者が実込み二十七日から 長春大衛裕昌源ピルの假木 ・配で教務を開始することに なつた、航空處は都合によ なつた、航空處は都合によ

では横三二環

上げた日

補州航空會社本社の新河

びる岩木の如き第二國民の 教育を唯一の樂しみに孜々 として聖職に馳む全繭七千 の補系教職員に望む第一彦 として産業部大臣から轉身 した呂民生部大臣位二十六 日午後四時から三十分間新 京中央放送局のマイクを通

参長 参長 呂大臣の 摄

なら安全と、金額者の⇒5の角囲復に向つてゐる御母

0

各位も思まして、の を全うせられ第二の型職 とも云ふべき少國民の指 とも云ふべき少國民の指 に一層邁進せられんこ を登り望する次第である でとしての重責を負うた がよろしく各位と脚標を がよろしく各位と下ある である である でから民生部大 がよろしての重責を負うた がよろしたい信念である

食料品店にあり

神の旺盛さによるのであの放送をなす の民生部大臣としての初

告候也部)は左の通り移轉仕候間此段廣部)は左の通り移轉仕候間此段廣)轉廣告

新京特別市長春大街一〇二 新京特別市長春大街一〇二 福洲航空株式會社 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七三二七 二、七八四二

亞海軍交驢 人諸兄姉に

告ぐ

0

連絡先 康徳會館

連絡先 康徳會館

連絡先 康徳會館 滿洲鹽業會社內會

津會幹事

歸郷に付至急讓度し 朝鮮飲食店譲る

、開幕する本年度首都聯合協議會の前奏曲中最も重視され

者左の如し

正直マ

P

現金屆

け・

四部に別けた時

同問

戸に向つたが

事モレー! 外配 マン公使以下列席の下に だンチンから贈られた油 他の答禮として日本海軍 から贈る七寶牌の花瓶一 いら贈る七寶牌の花瓶一 をとして日本海軍 がら贈る七寶牌の花瓶一

ナる廿日横

七寳燒花瓶を贈る

仲居 さん 四、五名御希望の方は本人直接御來談乞ふ年齢廿歳以上卅五歳迄 電③三七五

大隆號を関うり 五

至高 皇 うさを蘇默拜遣にかるは天東てつ墨嘴全はに刻時御るれらせさ 【稿默拜造にかるは天東の徒生校學女文華京新は興寫】るせら参げ 第三部議案國民生活の向上、第四部議案國民動員の完成と四部に分類するして協和會綱領に基き第一部議案建國精神の顯揚、第二部議案民族協和の實現密接不能な常面に領はる重要諸問題がとり上げられてゐるが、これが整理は全國聯合協議會に順應 員會に檢討する各分會から提出された議案は約二百件の多數に及び、いづれる市民生活と惟提出各議案について慎重審議することとなつた、第一日は二十六日午前一時より閉會した、議案整理委のる《議案整理委員會》はいよ (二十六日、二十七日の隣日に亘り首称本部會議室に於て閉 氏族協和の實現なご 首聯議案も重點す

聴け歐洲の實相

▼ 倉 園 係 票 中 部 内 連 絡 に 常 る も の

▼會精神に反するも

鑑定者多数の爲

新京深木小學校一年生松平 マヤ子さん(七)は二十五 日午後三時半頃興家大路官 東消費組合前路上で現金六 十一圓十七銭と成島名の印 鑑入革財布を拾つたものか と子供心に途方に暮れてゐ

〜近く作成一般家庭に配布 電表を商工公會と協議のう

の生必品公定價格記入の

長谷川報道班長が時局講演

府 内 三 上陸の輝く世紀 上陸の輝く世紀 上陸の輝く世紀 上陸の輝く世紀

文は撤回とする 案についてはこれを保留 に対してはこれを保留

上げた黙論宮内府大臣は海、上はるかに神武御東征の御東を御しのびあらせられ 健康を御しのびあらせられ 健康と、日本皇室と満洲帝 生。御殿がです波御東征の御 東の御東りいよいよ因きこ の出の虚儀にあたり次の如 き護話を發表、満洲國四千 きした。 は世られるため、皇帝陛下 せられるため、皇帝陛下 せられるため、皇帝陛下

大殿 洲大戦の 核心 を個 く」と関する勝道舎を開 はは講演終了大第戦況ニュ なは講演終了大第戦況ニュ | 天醫祭署では佐藤署長就順天署表彰式

長野してゐるが、二大 又は横範とするに足る 又は横範とするに足る

並表に

命 場所 於 新都旅館 新京大和通9七四 姓名、方位百般 結婚、相性、家相 正象師責任鰻定

H

價格表 生必品公定

天理教信者の奉任 ・ 本語の ・ 本

賣

買

通信競技大會

徹底を捌するため四十萬枚 首警総保股では暴利取締の 首警家庭に配布 萬称の

東鄉元帥

眞

下閣將少折桑府官武軍海本日 點十数品遺と品紀の獎推御

◇階七◇

でま日冊

信電話株式會社主催のバルが練磨奨励を圖る滿洲 に部外参加者である 超関は各管理局の選抜者 育議室に於て開催す

あす(廿七日) 於軍人會館

高 於國防 公打合會 於

土地家屋買いたい人の

利

用

機

關

新京

市中央

通十三番

地

本部午後一時 於首都 於首都本部午後一

帝展第五回より毎回出品

略一安連謙嚴▲八・四〇(新京)

水會展出品▼昭和十四年

查◆新美術家協會內員▼

協會主事などの は應爪らしくユタイのしれル四階會議室で 人交つて石鹸の固り片手にル四階會議室で 人交つて石鹸の固り片手に

彫塑のお稽古

泡も出さうな珍風景意

(最) 1位はつくれるやうになりませう」との講師のどこやらお世鮮めいた楽領で製作に精進してゐた、なは講作に精進してゐた、なは講作に精進してゐた、なは講作に精進してるた、なは講作に精進して出俗藝術の振興に養し

SS 字晚 S 放送

E

不動產取引所

確本位 書面にて 御は立め

のず

新振 (3) 二六三

→ 家庭の秘密ム 新興映畫、田中電雄 ・ 本語作品、丹羽文雄の原作により同山雲が神色に當 ・ 支那研究の泰斗を師と仰ぐ二人の青年學徒が ・ 支那研究の泰斗を師と仰ぐ二人の青年學徒が ・ 大変の表別を師との一流野の妻にたべく ・ 大変の表別を師との一流野の妻にたべく ・ 大変の表別を師との一流野の妻にたべく ・ 大変の表別を師との一流野の妻にたべく ・ 大変の表別を師との一流野の妻にたべく ・ 大変の表別をいる。 ・ 大変のの表別をいる。 ・ 大変のの表別をいる。 ・ 大変のののでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変ののでは、 ・ 大変のでは、 ・ 大変のでな ・ 大変のでな。 ・ 大変のでな ・ 大変のでな。 ・ 大変のでな ・ 大変のでな

朝

日

切封

長

春

座

唄ふ徳さん

ホ

祭刊

れは聞き洩しました。

、部そ

高

山廣子

座李

得を私は一人の満人の友人と歩いてゐました。 りの四角な塔が立つてゐました。 した。 見上 げる とそれには「率送」といふ文字が鮮 な人はそれを見上げ、ニタ 大きなロータリーに布張 かに職まれました。満人の 友人はそれを見上げ、ニタ たら満語ではヶ只で差し上 たら満語ではヶ只で差し上 たら満語ではヶ只で差し上 たら満語ではヶ只で差し上 によく出てゐる文句が浮ん で来ました。所變れば文字變ると くは、所變れば文字變ると くは、所變れば文字變ると でない。ではありますまい によく出てゐるではありますまい

で数十歳行と見合のことで、どれだけ儲けたかは正確な處に知る由もないが、前後に知る由もないが、前後に知る由もないが、前後に知る由もないが、前後に知る中で表方至百萬五近いで数十度方至百萬五近いで数十度方至百萬五近いで数十度方至百萬五近いで数十度方至百萬五近いで数十度方面では、その方法を質似ては如何なる成績をある、さて如何なる成績をある。他社もこの方法を質似ては如何で

を来してゐる を来してゐる を上映するはらが得策だと り、また此の再映興行は割 合に成績良好で、二、三番 合に成績良好で、二、三番 と表ない様子であるが、然 し再映も自ら限度があるの で、結局洋量興行は今秋あ たりから積々邦登に轉ずる たりから積々邦登に轉ずる たりから積々邦登に轉ずる たりから積々邦登に轉ずる

7.16 7.40 8.43 9.18

10.15

1.74 4.10 1.34 4.40 2.34 5 40

花園の天使 純情一代男

三番館では新品は十本に差別の方針を行れたに過ぎず、それだの方針を行れたに過ぎず、それだの方針を行れたは新品は十本に透明の方針を行れたは一本東行なりを行れたければ、この結果となり、高には一本に乗りたり、高には一本に変更なりを行れたければ、一本の方針を行れたければ、一本の方針を行れたければ、一本の方式が、一本の

別り通立大の場指子洋二不るすけ貝類も男

歷史第一部 11,00 3,17

廿一日より廿六日まで

大週 歴史第二部・第三部 まス・ワカバー行機す

状ふ憶さん 女剣戟三人娘 ニュース

個 倒 股 12.00 3.06 6.12

次週廿八日ョリ

田村邦男實演

品不足、内地上半期の洋畫

6.53 7.21 7.44 9.38 10.13 3.20 3.55 4.18 ス端史

12.29 12.52

2.46

サー日より廿六日まで 一調

6.12

豆果馴 三 12.CO 2.49 5.28 8.18 春 12.55 3.41 6 21 9.14 二十二日より廿六日迄 料金八十銭 十七日より 家庭の秘密前篇・愛染河内山

二十五日ョリ二十七日マデ 料金五十銭 空



奎寅崔・駿漢方

二研田薄(地築新) 色胸 郎太保木八・りよ方線の生年四里小 「版本等」品作社畫映麗高

7 58 8,111 8,511 10,35

12'54 4,11 1,14 4,31 1,37 4,54

5,34





佐分利信 一分利信 演 主





本を雨人から、お源は今、 一でに、親分のお裏の土もまだに、親分のお裏の土もまだに、親分のお裏の土もまだに、親分のお裏の土もまだに、親分のお裏の土もまだに、親分のお裏の土もまだがと思ふけれど、現在酸の浪でと思ふけれど、現在酸の浪で、お嬢はんをもで、お嬢はんを助けて、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、お嬢はんを、おりに、俺らのこ

▲ 商帝日蔣鐘新大 大船新香菜紡錘新

(日曜木)

で、どうなるん がの塚の親分の がある。

た片手によらりと白刃を だめ、眼は釣り上つて。 もあらはに繋篭のスソを もあらはに繋篭のスソを もならはに繋篭のスソを がく姿は、まるで現世の

『ようしァ』 学太は、突然、野呂勝の

祖育株式 四〇仙1〇 四片大分三四片大分三四片大分三

1000円の大

POST INCH

第二部 同時上映 お馴染みのミスワカバ來る新興演映畵でラヂオでレコードで 映畵でラデオでレ 大競演會 時代の寵兄ー 第三部





る夢 易の日大

産 婦人科



)重慶卿各銀行は六月末までに移轉車腕を完了退去せしむ界へ移轉せしめる。三)重慶駐在の米使節の下に上海より人員を派開をなし一切の重要書類を安全地帶へ密設する(二)佛租界の各機策を決議したと傳へられる

完封寸前!

黄河渡河點占領

監視の重要使命を帶びて佛

経由河内に向ふ

佛印監視員出發

かがとられる

五日午後英支國鐵に沿ひ東北方に向ひ進撃中のわが野北方に向ひ進撃中のわが野の敵を撃破したが廿六日朝の敵を撃破したが廿六日朝の敵を撃破したが廿六日朝の敵を撃破したが十六日朝の、一次支國境四十キロの完封は

各部隊は廿五日夕刻までに 羅城口、磯縣、開場村(磯 縣東南方十六キャン石口鎖 孟門等の黄河重要波河監を

を 印に赴くわが監視圏負陸軍 側西原少尉以下二十餘名は 小務省側の與謝野、山津南 宮附試官テエポー少佐等と ともに廿六日朝二臺の旅客 ともに廿六日朝二臺の旅客

に皇軍士氣愈よ軒昂

自睫

稻垣事務局長

大村、大塚、村川、照井の 地區を席後、破竹の進撃を

受力に定したといはれ外力依存の醜態を遺憾なく暴露してゐる

価歡談い

ど御和やか

る態度を 中、帰印など各國の極東植中外に闡 に一大變革を齎すに至り關 に一大變革を齎すに至り關

| 対応すべく帝國最高外交方|
主たる帝國に至大の關係を主たる帝國に至大の關係を

五日の會議におい 五日の會議におい

存権を襲く

〇正絹紋紗女羽

く外相中外に闡明

定

一般下と御共に を下には中と御共に を下には中央に を下には中央に が代表、建 が代表、建 の米内首相以 の米内首相以 の米内首相以 の米内首相以 の米内首相以 の米内首相以

關

軍

團

の御交誼

殿に畏き日満

全將校に訓

夏の服飾美展

字称宮司法部文書科長 とり司法部文書科長に就任 とり司法部文書科長に就任 で入京した 地交涉延期日英日佛現

上次温泉 100基地廿五日

第十五大重慶爆撃を實道部〇〇紫地廿五日午



要農産物統制に 强化斷行 出荷方策に萬全期す

炎熱下に活躍の砲兵部

機のこ光すで統あ金ず從るは開 陽雪×分るの間るのる來統年を

大豆と加工品 種々の法令が出されてゐる を発力になれてゐる 本の法令が出されてゐる は、の法令が出されてゐる

町がとられるものと豫想

次に支配人)同為蒙ネテア族を一郎氏(鮮銀八水電学)同様公司理事)同様公司理事)同様公司理事)同様公司理事)同様の大連 往來

狠

この非常時に で御座います ゆる為の大奉仕 日頃の篤き 御買物は此の 奥様に申 型とて新協定の成立時間の関 型とされてをり、同協定に 1ター協定は米栗の外新た に要の追加があるものと確

無為替輸移入

朝鮮から麥輸入

滿洲からは精白粟

驚異的膨脹示す

經濟は

一大轉機に直面す

同詞同同同數 六五四三二元 年年年年年 米米末末末

二人四三二一金大〇四二三七一四三二四〇八

大国三〇+五 九七六〇一回 六七二〇一九數

◆大連株式 (短期) 五 品 三六 医元 大切 新付 大切

本 () 大 () 本 (

3

社心

東亜の新事脈に對處して日 地から軍用に政は一般陸上 地の使命は益す重大と云は 社ばならない、今日その製 品は全満に普及し、目下全

州廳經濟部長談 が 経済部長は二十五 に辿つたが 商况發

配當金(年七分)

衣裳

西野吉

社を中心と

上內納

金属分案左の如し〈單

•明石市城北日輪寺

賣

は、時代」であつたといへよう 単に数字上の膨脹のみを見 先づその本源は財務當局になりの 政府出資にかよるものが多 洲國經濟の骨子を形づくる なる如くにも見える中銀をりの 政府出資にかよるものが多 洲國經濟の骨子を形づくる なる如くにも見える中銀をいま ける政府負擔も益す多くな されてゐるこの國の生産構 或はまた巨大會社を濫設しなほより の禿躍的増加となつて現は されてゐるこの國の生産構 或はまた巨大會社を濫設しなほない の禿躍的増加となつて現は されてゐるこの國の生産構 或はまた巨大會社を濫設しなほな プロで来たので各事業又は作 レの症狀を呈してゐないと これを求めるのが妥當であらか 就任な 要特別會計等も随伴的に膨 能が買ひ得よう、かくてい こうか、何れにせよ、満洲 く決本年 業時別會計等も随伴的に膨 能が言ひ得よう、かくてい こうか、何れにせよ、満洲 く決本年 業時別會計等も随伴的に膨 能が言ひ得よう、かくてい こうか、何れにせよ、満洲 く決本年 業時別會計等も随伴的に膨 能が言ひ得よう、かくてい こうか、何れにせよ、満洲 く決なる 暖を示してゐる はそこに多分に潜在インフ 社営局の經營館力の費困に 数理である してるないと これを求めるのが妥當であ はまた正大會社を濫設しなほどである。 これを求めるのが妥當であ 関係を示してゐる。 これを求めるのが安當であ 関係を示してゐる。 これを求めるのが安留であ 関係の能を示してゐる。 これを求めるのが安留であ 関係の能を示してゐる。 これを求めるのが安留であ 関係の能を示してゐる。 これを求めるのが安留であ 関係の能

新組合で代染料の輸入配給統制

大連船渠徳倉

ないて第六回定時

らい病療

夏

店內全商品 大見切 引

非常時向特價品専門・教とます

新古衣類

特價洋服洋品

支店 新京競賣所

ヨノーー

であらう。それがどのであらう。それがどのであらう。それがどのであらう。それがどのであらう。それがどのために遠進しなければならぬ。そのために遠進しなければ遅れートの遮断のみに止援ならぬ、その上の對處策 してゐるのである

許可を受く

大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大豆化工役員 ・大設超委員長河合良成氏は ・一方。の経理事立に監事に左 ・大設超委員長河合良成氏は ・一方。の経理事立に監事に左 ・大設超委員長河合良成氏は ・一方。の経理事立に監事に左 ・大変超委員長河合良成氏は ・大変超委員長河合良成氏は ・大変超委員長河合良成氏は ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変超季に表示が、 ・大変を ・大

最近の満洲國豫算

はその外貨代替制の一

制度は

は、国く権つの場合等に 住一宅 離でこのせまいての場合等に は一切の場合等に りしては、制飯が進まない。 関く権つ のも無理はないかもしれまに散か測算分 下してある時を無事に過されるがある時を無事に過されるするでは如何にした名

てん人人を玉田が立献の理料にんれたを変出が立献の理料

玉子井 を食中ぶんに切り、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 で大玉葱二個、 ではきざみ、 然 が嫌にきざみ、 然

仕事が出來ぬ

大づ桃の紫は採りたての新 らしい葉をよく揉んだ汁、 また土漑に入れてよく煎じ 出した汁をつけてもよく、

な様子セモの後防、手盤には一%のホウ酸水、食 をリリーブ油でねつたもの オリリーブ油でねつたもの オリリーブ油でねつたもの があった。 はりが があった。 があったもの があったもの があったもの があったもの があったもの があったもの があったもの があったもの があったもの

雨よ降れ降れ

できる通の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて を表面の水気を拭きとつて にいるを になりません

防水液で大丈夫

簡單なその作り方

いつたん吸漉し

吉田叡示氏談

日本の新黨運動

鼻の頭へ

おぬけしない製地の肌でも でなが出来ます。 ことが出来ます。

内案の容美

黑砂糖を

廷

でも是非とも必要だと思ひ 多忙な建設的な満洲に於て

われ手拭は不必要 東邦彫塑院會員

樂しい

タ本中に子供を無暗に叱る のは差控へたいものです。 消化作用は精神のはたらき に支配されることが多いの で、好きな物を食べた時は

消化がいムのです つまり子供が機嫌のい ですから食事中は勢 く愉快にするやうにし し樂いいてしょう

子供を叱らわ 食事中

りかめの 見分け方

に水で洗びたびものです。 たら直ぐ を呼端にして水を洗がたでなります。それに をですと、空気中に含まれて をでするのででは をでからいますす。それは をでが流してから早くなります。それは をで水気をしてすが難が出來る場合は とかけ流してから早くなります。それは をで水気をしてすが難が出來る場合は をで水気をしてすが難が出來る場合は とかけ流してから早くなればよろ をで水気を吸ででも あにもよいのですが趣が出來る場合は をで水気を吸がとつてなればよろ をで水気を吸がとつてない とさけることは苦手な泥の変やなたなりなから にもよいのですが悪が出來る場合は をで水気を吸がとつてなればよろ をでがにしてから早くなりなから とながただにまってないがある場合は をで水気を吸がとつてなればよろ をで水気を吸がとつてないながなた をで水気を吸がとってない をで水気にもまいのです。 をで水気を吸がとなってないた。 をで水気を変がなたながたない。 をで水気にもまいのです。 をで水気を変がなたながなた。 をで水気がなながたがなながた。 をで水をかけたら直ぐ前 をでする。 をで水気を変かなたながたがなながた。 をで水をからなります。 をで水気を変がなた。 をで水気を変がなた。 をで水気を変がなた。 をで水気を変がなた。 をで水気がなながた。 をで水をからなながた。 をで水をからなながた。 をで水をからなながた。 をで水をからなながた。 をで水をからながた。 をで水をからながた。 をで水気がながた。 をで水をからにもまいのです。 をで水をかなた。 をで水をかなた。 をでする。 をでする。

點のき

カビは種類が多いない。

洋傘、 雨後"

でも、がもつと種類の中に入って見ると考さに耐へるといふことだけに大変になって見るとを持さに耐べるといふことがもつと趣味的に考べて見ると種類の中で楽さった。 、がもつと趣味的に考べて見ると種様が、ますれば美しさを増すのでで表す。 、がもつと趣味的に考べて工事があった。 、がもつと趣味的に考べて工事があった。 、がもつと趣味的に考べて工事があった。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつと趣味的に考べて工事がある。 、がもつきを増する。

おろし 若い頃からの かつた皮皮

押入も黒氣から遠ざけ清 ではっていては特に とですることです。 では、あつさりしたものか でに、あつさりしたものか でに、あつさりしたものか でに、あつさりしたものか ででするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 がに、あったりしたものか のにするとか、製造元の不 がに、あったりしたものか のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 をは使 でなが のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか、製造元の不 のにするとか。 のにするとか、製造元の不 のにするとか。 のにするとか、製造元の不 のにするとか。 のにするとか、製造元の不 のにするとか。 のにするとか、 のにするとか、 のにするとか、 のにするとか、 のにするとか、 のにするとか、 のにするとか。 のになが、 のになり、 のになり、

でも明かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし でも明かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし で見ると天然のものは青く を見分けるには、指の先 とで見分けるには、指の先 とこすつて見ると、築めた で見ると天然のものは青く で見ると天然のものは青く で見ると天然のものは青く でも明かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし でも明かに保つことは精 す、また太陽の光にすかし で見ると天然のものは青く 活動な

んのとなで、

ム乾かしてはいけまれる。機能が吸着される。

で角質がより、一般は、なしにいっまでもしておくと硬化したしておくと硬化して



仙壽療法は

形に樹野し悪野の脚脈は空道 形に樹野し悪野の脚脈は空道 形に樹野し悪野の脚脈がは空道

が困りの方に

皮膚病が漸く治 一の悪も赤酸化して水ト (困りの悪も赤酸化して水ト) (本のまと大十九酸を掘へま



湖月ボ 十五圓均

ので今度は公主機から借りてやります、東京関の衣装は日本にもなかった程のものだつたた程のものだつたは毎日午前一時から大時まで被付してあます。 來月の十るます。 來月の十るます。 來月の十るます。 來月の十るます。 來月の十るます。 本名機構です」と語のなどとしても恥かとしても恥かと言語としても恥かるととしては

っだってエ

やつば

ですもの

は

から

で要ってしまった。 を借りてやつたのですが、東京閣のですが、東京閣のでものですが、東京閣の

芝居としても乳かった、どうもとは 関邦各人士の血が あかす一番になる

とやり直

頃新キキで封切になつたる 「眞如」の猛稽古が初まつ てある。眞如と言ふのは有 名な舞墜側だが映畫では先

女劍戦を展開す

會に

付て

……その場面が窓具 左の質にも勇ましき光景男 がだらしなく倒れて女が立 がだらしなく倒れて女が立 見得を切つてぬるあたり稽 見得を切つてぬるあたり稽

したたる様な著葉になるだめ、 したたる様な著葉になるだめ、 りンはこの芝居の引立役だめ、のだ、女が男役をする場 いのだ、女が男役をする場 にいつも問題になるのはお

大谷・社長の大震殺計畫 | 大谷・社長の大震殺・計畫 | 大賞 | 大震戦 | 大震戦

| て高木学一監督で着手する
| 工」に次ぐ初帙の大作とし
| 工」に次ぐ初帙の大作とし

おいか、大慢要な所を知いか、大慢要な所を知いたのからいかんのや」「だって姿、女ですもの、そこを知にしなくなつたらおしまなだと髪ちくりんな問答さへ繰り返す始末、数馬とのを地で行つたら良いんだ。」と野大られていじらいたって「うち、此處は好いん」なぞと言び出す場面になると真つ赤になって「うち、此處は好いん」なぞと言び出す場面が出す場面が出す場面が出す場面が出す場面が出す場面が出する。

・岩葉タンの男装

りまさに魅力百パーセント 奥味深々たるもの、えい、 東味深々たるもの、えい、

び上る、前がパット覧れてる。 前がパット覧れてる

上段

が、質され

ナチ的作品「脱走」

6

若葉タ

活京都の新進田

香地蔵」がそれであるの新進田崎浩一監督

#乙女子は十八、九なりこの年を、酒と禁煙に身をする年をは、棒咲く関の女の初離は、男の心理ぞいかにせむ#驛の解ら以變でこな歌を暇り書きした難能が足下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の下に散らばつてゐる、夜の大度間、壁ぎはには行荷やら着物やら布側やらが中ち着物やら布側やらがある。

大郎)はお静、深水廉子」 大郎)はお静、深水廉子」 大郎)はお静、深水廉子」 と何もかも許し合つた仲 であるが何彼か母お節 く常盤操子)は許さない そこへある日仇を探す後 藤源治郎(原健作)が腹 藤源治郎(原健作)が腹 がのため忠僕曾平太(澤

明、男はたつた一人磯貝 関、男はたつた一人磯貝 大がやるだけ、あとは全部 大がやるだけ、あとは全部 を観光節を銀座會館の植木と言ふ がやるだけであり を発さんだけであり では原健作のやつた後 藤源治郎を銀座會館の老 では原健作のやつた後 藤源治郎を銀座會館の老 であり の信子、お節を道館園の の信子、お節を道館園の のにかったるとは全部 を発生のであり を発生のであり を発生のをできる。 であり のに子、お節を道館園の を選集を第二マルセーユ

子

現代

劇

汽車の時間を間塞へて、桑野、東京驛をウロつく事三時間、」が上京した「水戸黄門」で西下した時世話になが上京した「水戸黄門」で西下した時世話になる。

と云はれ、桑野ギヤ



2

** 大工工学財団、国防駅 大八の三日間に亘つ 大八の三日間に亘つ

楷古場に見る珍

汗だらけの大熱演

で死れと言ふ。自楽になかから、源次郎にお節は悲かりたくなかつた数馬は瀬治郎に最初は を高く源大郎にお節は悲しみ であるや数馬の羽織を興

て女給さんの『演劇 を以て厚生會館に於 を以て厚生會館に於

大會」を開催することになったが、萬金を期するために稽古

銀波の二階を訪れた 環は稽古場カフエー 者は稽古場カフエー

AAAAAA





七、三〇(東京)國民歌 同)陸軍戶山學校軍樂隊 (作曲) 二、交麗曲「扇 花の頌」白鳥省吾、謹嗣) 花の頌」白鳥省吾、謹嗣 花の頌」白鳥省吾、謹嗣 花の頌」白鳥省吾、謹嗣 花の頌」白鳥省吾、謹嗣

本、OO(大阪)子供の時間 物語 「統持たぬ勇間 物語 「統持たぬ勇間 物語 「統持たぬ勇」上。(三)「宣振班」中川源太郎他大、三〇(東京)コドモの新闻 大、三〇(東京)コドモの (新京) カレントトピックス 大、五五(新京)カレントトピックス トピックス

九、三九(東京)時報、ニュース、ニュース、ニュース、ニュース解説、告知事項、明日の番組、告知事項、明日の番組、四〇、四〇(哈爾濱)北浦の時間(護語)

(率天) 經濟市況 る

五四三九〇五

三

(後八十一〇)

る

裏通りで氣軽に印料器で通の銀行では柄にないの

作落語裏店銀行のお笑ひ

小津安二郎の

1

健康なメロドラマ

一作决定





映畫へ

船城戶所長こ懇談決定 が映畫化の仮補にのぼつて "遁走譜"を澁谷實監督で

アン主演で反ナチ件品 監督、マーガレット・サ にロはフランク・ボサー

来大船城戸所長と井上 場一黨の映畫出演は、 で表と後の主宰する演

少年時代を描く指導的作品の製作を計畫してゐたが態は「少年金大郎」と題名決定、山内俊英原作脚色演出を表第には大都の名子役岡郡彦一が扮し八月第三週封切の豫定 少年二宮金大郎

出演する筈、同、タニ大船スタアが應援の監督作品で、井上一座監督作品で、井上一座

南田、第一協園の第二作作、高木孝一協園の提携第一回南田第一協園の提携第一回南田第一協園の提携第一回市田第一協園の提携第一回市田第一協園の提携第一回市田第一協園の第二作

が脚本探

萬圓

南旺第六回作

煉瓦女工 各新劇團大學出演

以來滿一年振りで初秋封切 切封 「放本日」品作社畫映麗高



私の頼みをさいて いたられるのよ。ね いまへも推進されるのよ。 ないでは、私はお



(3i)

学をも満してみた。 学をも満してみた。 本語してみた。 本語してみた。 本語してみた。 かよう みよう

白崎海紀

・ 奥さたてた。 もう何も要

(日 曜 木)

神川間の「美談」 「日本評論」六月號所載。 「日本評論」六月號所載。 「日本評論」六月號所載。 一年をなって本たとしてしまふ。男の父に対かの大はもり遠といっ何かに営る男の父に類まれ色の女は好が、その男が或るの女は好である。話情ではない。中である。話情ではない。中でなたとしてある。 「日本評論」六月號所載。 一点の大きないっ位かに営る男があたのがある。 である。話情ではない。中でなたとしてもない。 一点の大きないったが、この男が或る の大はもり速くへ表の男力も賞を示すたとしてある。 である。話情ではない。とも である。 の世間をつかみ出し、その の世間をつてるる。 の世間をつてる。 の世間をしてるる。 の存在も認めない。何でも彼でもやつつけて見たい。相手に問題にされてゐなくても、それで自身はやつつけたものと清足してゐる後年かたつて振返つてみると一等よく判ることである。可笑しくもあり冷汗も

前記の最論に對して、五 所列二十六日の満洲 新 間 に 「野文馬根性」と題して、 北村線文郎氏が反駁文を書 いてゐるが、これを通讚す るに氏が遊面から湯氣を立 で 1 私のでゐる顔が私に想 から言ふものを取上げて云 が方言ふものを取上げて云

E

わるくする。 でむやみに押込め でなったしに 変も何の足しに かっか、かへ

私は襖越しにはら

二日目の双葉敗れてゐる間に歐洲殿学は軌道に気かしやの芽吹かぬ山に見らと來でかたじけなる的自含値食ぶ(速足)

ない。 かります。 なほさら なほさら する。

五

がめたのか、間も 番目の叔父一だが私はこの人だけは兄と呼びたい。何 人だけは兄と呼びたい。何 放なれば、此の人だけは孤 なれば、此の人だけは孤 かりの来方であり、神よりも の味方である。そして、此の兄が のである。そして、此の兄が に数へてくれたのである當 に数のりのところへ、いきな そして、私達の襲てるる し、續けて言ひ争つた。 それは、母と例の権薬が 家へ遊びに行つて聞る途中 級父に運悪く見つかつたの があるらしかつた。 をあるらしかつた。 をあるらしかつた。 をあるらしかつた。 を表えらしかった。 を表えらしかった。 を観暴になる癖を持つてる。 であるらしなった。

たしか五月十三日の哈爾

の何よりの築養素なのである。この維者の對照とする 長台川 氏の「建國文學私 論」は、なるほど文章はた どくしくはあるが、氏の である。 である。 この維者ばかりでなくか うした狂氣じみた愚文は新 での新聞や雑誌でよく見受 は、なるほど文章はた との維者ばかりでなくか この維者ばかりでなくか この維者が一度は通り、 一定は誰もが一度は通り、 一定は直分より上には何者 の存在も認めない。何でも

それもよろしからう。さうしたものが新京での一風流であるかも知れぬが、ニッケパーラーのコーヒーからケペーラーのコーヒーから大興ビル地下食学のお酒から文學が生れるであらうか齢くとも現代の満洲に於て文學するものと言へば、一次、 作文を上げる

田の離は、もう浸さへ含 は狂暴になりかけてゐた。 は狂暴になりかけてゐた。 なは隣筆で、大に來たるも

な班高い離と、お父の百雷 な班高い離と、どちらが先だ大きな解と、どちらが先だつたか分らぬ程、私は真正 回から叩きつけられたやう

十二七探檢記

現下の貴重な學座欄を、

いのであり又ぞれを のであるか、否かが のであるか、否かが なお前だった。

逸。銃後勤勞奉仕必

がか、長谷

出征·入營の

見送りには

に於ける今後の興行界に對
といふか、一體どんな風に
とだけでは貴下も困るであるかといふ
らうから、映畵を抜きにした方か早いかも知れないと
た方か早いかも知れないと
た方か早いかも知れないと

の子

記

谷

をといとも繋がないとも繋がれることを表示してありますからないとも繋がれると思いたとも繋がれるとも表示としてありますからないとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるといとも繋がれるという。

逸の猛將ライへ を辿りて戦

に記る



収飲作用で を表をとしてする。 ム水は

耐久力の 電線病 に浸してから学 ノーリップスの溶解液 スフ・人絹靴下は必ず いてど覧なさい 防止と 三倍强化 000000 三中本非





各案を慎重檢討

首聯議案整理委員會

(6)

会上、福の「農業整理委員 日本部長、副委員長に全子 日本部長、副委員長に全子 日本部長、副委員長に寛城 日本部長、副委員長に寛城 日本部長、副委員長に寛城 日本部長、直ちに職業書講

中心議題

かに凌駕して二百件、 こ

豫想される

議案並に全職提出職業を決 後一時より開會、官聯上程 後一時より開會、官聯上程

上に力強く揚げられ鎌道愛

策の建設上出来るだけ低位

じて種穀會社の盛力を求め

潤澤に配給す

高粱粉を

の鳥居が大きくなる… 神 祉正 面入口の 鳥居 大寸)は昭和十年五月 に當時中央ホテル(見 正公園前)経營主松原 正公園前)経營主松原

建てられたものだが、 今回松原さんはさらに 大きく立派なものとの 念願から先きに神社へ 高さ三十三尺直徑二尺 がけたものム率献方 をかけたものム率献方

満条大衆へ

精が七月一日から約三パーセントお嵌くなります、政 はせ、お値段の適正と配 絵の松正を圖り内地流の甘 絵の松正を圖り内地流の甘 絵の松正を圖り内地流の甘 味机能を粉止すべ。應急情 を探つて来たが、今度新 を研究、その方針が決定を を研究、その方針が決定を を研究、その方針が決定を

新京神社の鳥居が

大きり

七月から砂糖を廉

くします

編布の閩南二件 二十五日午後中央通響經濟 保安保では東三馬路老市場 二〇貫綿布商天登成こと李 春方(四〇)同二三號橋布 高恒記徳こと李玉如(四六)

生活に貢献したいと考へ生活に貢献したいと考へ

ことも探知し一先づ習慣のの兩名が暴利を貪つてゐる

である (倉賃は新警士の間である (倉賃は新警士を配置) 本卒業することとなった、本卒業することとなった。

甘黨の

菓子の統制も計畫

[新黃鐵陶函] 皇帝劉下尚 虔な御態度 原田日向艦長謹話 せ 2

大佐は日向艦上で左の如く この度 の航海で 一番心配 時御召遣日向艦長原田猜一 感应後の廿六日午前十 だの した、大連港でも出ことでした、大連港でも出ことでした、大連港でも出たが、極めて短時間前までは理尺を辨があるというません、 御に天佑と申さねばなりません、 海に天佑と申さねばなりません、 海に天佑と申さればなりません、 海に天佑と中さればなりません、 海に天佑と中さればなりません、 海に天佑と中さればなりません、 海に天佑とが出来することが出来ました。

臓話した

農夫姓玉才に資 八錢五厘)

敬農愛耕運動の序曲 を 會社の技術者によって行は 単せしめ一段調心を易める こととなった

成完造改部內

店開日

電話〇三六〇

御知らせ 其他材料一式

地左の通り移轉仕候間此段廣は左の通り移轉仕候間此段廣

新京特別市長春大街一〇二十年六月十六日

移轉廣告

表床替

京疆町三丁目十八番地 見玉疊商店

最新3 二二九〇年

丼う壽御 な 料 物ぎ司理 電 開

查委員會

生科長沈偉讎、同事務官

間の婦人用白靴

(2)

話二二、七三二、七八四二人七八四二一七

六九五六

巴壽司

奥安大路の 院三源前號藏

能の方に對し金五百圓を呈す市内三間以上にて適當の物御幹

貸住宅を求む

加速機店

今般補州國政府の御方針に遵ひ主要食料品國内電給の一元的統制を 解散し左記に依り其の營業一切を弊社に包括統合数すことを相成 が解散し左記に依り其の營業一切を弊社に包括統合数すことを相成 に將來信應の御眷顧を賜度此段御挟繆等々匯告候也 記。 一、七月一日より學社に於て右各市場の御豐楽務を經営し碑市場會 る債權、債務は一切之を繼承す 一、取引方法に就ては尝當り從前通とするも市場本來の使命に對極 が改善に努む 一、各地市場會社は弊社の支店として左の名稱に改む

に對しては從前と同線何分の御引立をはを以て解散致候に就ては多年の御腮情を以て解散致候に就ては多年の御腮情 せに 株元 店店店店店店

決しキット幸福に 離問題も即座に解 職に依り如何なる

二十日迄

眼鏡と双眼鏡と神殿的にませんからます立病院眼科の風光は御座いませんかが京市立病院眼科の岡田ではまけんが表示して明るが、中山眼科の院眼科の風光は御座いませんかが、中山眼科の院眼科の風光は御座のませんが、 眼鏡と 盤 洲生活必需品株式會 するか

京大和通り七四





















腸炎後の衰弱に 足腰も立たぬ幼兒が

ない既が一般解わない既が一般解れないでからと」を服ますからといるをはない。 × 時間の貝× を欠夫にする部

牛乳一合八錢

牧場

電話2カシミロ三六

便良新鮮

古本買入一般の本も

三友社 電話3 三四二 動

建築用材料 を 単連綱組的数しま を 単連綱組的数しま を 単連綱組的数しま を 単連綱組的数しま



新京大猫病院

和泉町三龍の五二二〇

授業年前、午後、夜間 人 學 競 時系新数略一〇五號 派洲直賣五二章所 通過四五二章

電話 岩 電 見 話 金 四ノ一十目丁三町業永 前校學小島八 番七三一三・3 電

宋松接骨院 (中央通警察署前) 中央通り

迅親速切 安便信 九二九三②電

省板 盤裝 新四九路經大京寺 每三六一二3 話寶

多量のビタミンBを要求

は、あらゆる生物中間一といはれる経験を複合動脈したものであつて、なは有縁 は若紫(わかもと)であり この機はピタミンBを含

排水・下水修器

大和運輸公司

日本總領事館を何 新滿商事 意新四六四二へ

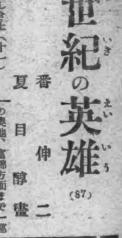
等はからして防ぎます

茶と









(1

便秘する方の多い

あります。物状としては浮腫の伽 に疵瘍にあつては悪風を喧噪さで、軟縄代職が昻まり、それに要 ことです。慰悟はいる(な極寒で・軟縄代職が昻まり、それに要 ことです。慰悟はいる(な極寒をとられますの 便秘する方の多い

母親が健康でも

は、ひます。また環境あることは、そ 本総々に混んできますので、保護 します。また環境あることは、そ 本総々に混んできますので、保護 医達つて、人間二分除りの世際は × を建りて、大関二分除りの世際は × を建りて、大のビタミンBの必要 とれば一見不合理のある後で しては過ごに対した場合に対した。これは一見不合理のある後で すが、大人のビタミンBの必要 Bを補給する事が大場です。 電と 軽と 凝青の最も に加えて いる その方はとして、最も 配湯に 電 て、 音製の場合は 地質に 買され ひられ、一枚家庭に推奨されるので ない 程度のビタミン B を 神経する事が大場です。 だい 程度のビタミン B を 神経する事が大場です。 たい 程度のビタミン B を かられ こと で あります。 は 古葉 くわかもと と で あります。

特效獎 安心 散 古光堂療院 高3三七三六番地 東二條通交番的 東二條通交番的

お米ご 新京興信公所 木炭の

ランドン御申込下さい 電2 1 〇八五 自疆會 新京東三馬路 自疆會

事結開調查信用調查

カメラ修理が一般語の五三三世界の大学・一般語の一般語の五三三世界

西五馬路大經路入口岩田屋 西五馬路大經路入口岩田屋

古物 丸八商店